

第1回丸瀬布地域まちづくり会議議事録

日時	令和2年9月1日(火) 18:30~21:15
場所	丸瀬布コミュニティセンター多目的ホール
出席者	鈴木会長、谷口副会長、佐竹委員、刀川委員、國枝委員、関委員
欠席者	塘委員、柴田委員

次第	発言者	発言要旨
1 開会	企画課	ただ今より令和2年度第1回丸瀬布地域まちづくり会議を開催する。塘委員、柴田委員から欠席の連絡をいただいている。以下の議事進行について、会長にお願いする。
	会長	本来ならこの会議は5月に行われる予定だったが、コロナの影響で延びた。前回の話の内容は皆さんの頭にも残っていると思うが、今回はいかに丸瀬布地域を盛り上げていくか、話を進めて行きたい。

2 報告事項	会長	報告事項について役場企画課から説明願う。
--------	----	----------------------

	企画課	・広報えんがる6月号に令和元年度まちづくり会議について、記事を掲載した。
--	-----	--------------------------------------

- ・2月3日の全体会議で委員32名を第2期委員として委嘱、町長から講話をさせて頂いた。
- ・右ページに合併前に行った財政推計についてグラフに示している。各地域は本当ならば財政破綻とも言えるような状況だった。絶対に当時の状況に戻してはならないということをお伝えした。
- ・2月20日~3月30日に地域ごとの会議を行った。生田原は3月16日に開催

		<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町からの話題提供においては、人口減少の状況、財政の状況、公共施設の状況についてお伝えした。 ・各地域会議においては、「子育て支援」「若者のU I J ターン促進」「ふるさと納税の促進」「観光」その他で「公共交通」「役場職員の問題」「行政の無駄を省く」などの意見が出た。
	会長	質問意見があれば出していただきたい。
	全体	なし
3 議事	会長	(1) いこいの森の冬の活用について、企画課から説明願う。
(1) いこいの森の冬の活用について	企画課	<p>2月20日の会議の振り返りも含めて説明する。</p> <div data-bbox="432 743 1166 1155" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">丸瀬布地域の課題・特性・背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 合併時2,019人→現在1,237人(△39%) ・商店減少、若者が少ない、公共交通の維持 ・介護施設の人手不足 ・いこいの森、雨宮21号 ・マウレ山荘(観光を主にする民間事業者) ・森のまち、昆虫のまち ・イベント担い手の確保 ・新しい日常、アフターコロナ対応(臨時交付金4.6億円) <p style="text-align: right;">2</p> </div> <div data-bbox="432 1160 1166 1572" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">前回のまとめ(今回の討議テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬のいこいの森を活用する ・ふるさと納税を促進する(返礼品充実) <p style="text-align: right;">3</p> </div> <p>議題のいこいの森の冬の活用について、既にある取組や課題は次のとおり</p> <div data-bbox="432 1628 1166 2040" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">1 いこいの森の冬の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィンターキャンプ ・雨宮21号雪中運行 ・氷結した山彦の滝 ・雪中パークゴルフ ・よりお金が落ちるには? ・スタッフの確保は? <p style="text-align: right;">4</p> </div>

冬の観光の企画検討例について、次のようにまとめてみた。



例を参考に検討していただきたい。




会長	丸瀬布の冬の観光・経済活動について、この討論ですべてが出るとは思わないが、よりよい御意見を出していただきたい。また、役場産業課からも出席されているので、分からないことがあれば聞きながら進めて行きたい。
委員	雨宮 21 号の雪中運行について、線路の雪かきなどしてやっているが大変なのか。
産業課	当然、夏や秋とは違う。除雪、軌道の確認、ボイラー水を入れたらジェットヒーターを 24 時間炊きっぱなしにしなければならないなどして、ようやく当日を迎えることができる。
委員	いこいの森で冬まつりみたいな、雪像作ってその時に雨宮 21 号を走らせるということとはできないか。
産業課	雨宮 21 号は何かあるといけないので、もしやるならディーゼル機関車を有効活用する方法だと思う。それでも除雪が大変でポイントなど軌道施設の場所が分かっている者でないとできない。問題としてはそういった体制が経済性の面で取れるかということ。
委員	平時にやって使用料で賄えるというものでないので、丸瀬布を知ってもらうという目的でお金をかけてきた。少なくともトントンという中では厳しい。
委員	ゴーカートのコースをスノーモビルで走らせることはできないか。


支所長	それは可能だと思う。
委員	4.6 億円の使い道は決まったのか。
企画課	9月中旬ぐらいまでに計画を提出することになる。
委員	それを使って線路に温泉を通せないか。
産業課	枕木を年間 200 本交換しなければならない。配管をよけて交換するのは難しい。除雪機を整備する方が現実的だろう。
会長	ちなみに過去に走らせた中でお客さんはどのぐらい来たのか。
産業課	乗車が 245 人。撮影協力金という形で協力いただいたのが 304 人。ちなみに昆虫館を 11 人利用。やまびこ温泉にも 245 人が入った。担当者としては施設だけで採算を取るのは無理だが、宿泊や売店からも運営協力でお金をいただくなどすると可能性はあるのかなと思っている。
企画課	前の雪中運行の時に遠軽から J R で丸瀬布に来て、バスに乗っていこいの森まで行ったのだが、他にも遠軽からいこいの森に向かう人が結構いた。見えていないが宿泊などの消費が結構あったのではないかと思う。十分に見合うかは別だが。
産業課	前回宿泊は、マウレが 10 人、越後屋旅館が 38 人、生田原ノースキングが 14 人、サンシャイン 35 人、ホテルタカハシが 8 人、若葉旅館 1 人、瀬戸瀬温泉 4 人、合計 110 人の宿泊があった。
会長	ペイするかは抜きにして、これだけ集まるのは魅力があると思う人が結構いるということだと思う。
支所長	いつもはやっていないので、プレミア感があってということ。毎年やっていたら少なくなると思う。
産業課	地域別でいうと、関東が 44%、中部 6%、関西 12%、九州 1%、道内は管内が 16%、管外が 21%。やはり本州の鉄道ファンが食いつくようなイベントになっている。
支所長	ということは宿泊が伴うということになる。
産業課	J R 北海道の利用にもつながる。
委員	日本で冬もずっと運行しているところはないのか？
産業課	S L を運行しているのは大井川鉄道。静岡の修善寺も走っている。釧路は期間を決めて走っている。
委員	山彦のライトアップと合わせてやっては？
産業課	鉄道ファンは全然興味を持たないと思う。興味のポイントが違う。
委員	雨宮 21 号の常時運行ということでの議論はゴールがないと思う。グランピングをやってみて感じたことなどを聞いてみたい。

企画課	参加費で経費を賄ったということだが、人件費は含まれていない。テレビに取り上げられたということで経済効果はあったが、収支的には課題がある。
委員	こういうチャレンジ企画で収支を黒字にするのは難しい。やってみて一般の人が食いつくか、食いつかないかというお試しの企画なのでこういうことを増やしていくしかない。
委員	来た人の反応は？来年もあつたら来たいとか。
岡崎	そう言ってくれる人もいたが、「これだけ寒いのはちょっと・・・」という反応もあった。冬用のキャンプ道具をそろえきれなかったという反省点もある。継続してやっていき、話題を発信していくのはありだと思う。1回で終わるのは避けたい。冬用のしっかりした道具をお客さんに貸し出すことができれば、経済にも貢献できるのではと思っている。
委員	最初はえっ？と思ったが、話を聞くと行ってみたいなと思った。続けるといいと思う。
岡崎	ポスターは遠軽に来てから見たものがカラフルなものが多かったので、冬キャンプは暗めで危険な感じを出して、「それなりの覚悟をしてくてよ」という意味を込めた。後は真っ黒のポスターは遠目からでも目に付いてしまうというのを狙った。
会長	これも体験的にはいいかもしれないが、進めて行く上ではまだまだ課題があるということだと思う。こういう風にして、こうすると冬でも大丈夫というところまで持って行った方がいい。進めるだけの値はあると思う。
岡崎	今年やれるのであれば、冬用の道具を持っていなくても寒さをしのげる方法が、サバイバル的になるが、あるので、それを体験してもらおう。寝袋の秋用と夏用を重ねて使い、中に湯たんぽを入れたらあったかいというのを体験してもらおう。一応、避難場所も作っておき、限界が来たら逃げてもらうという形にするのもいいと考えている。
委員	北見で冬の災害の時に備えてというのをやっている。
委員	最近のキャンプブームの中で、集まるけどそれぞれが別のことをするというキャンプが流行り始めているという話題が流れていた。集まる時間から、帰る時間までそれぞれバラバラでなどというのが若い人にとってはいいらしい。安否確認はするけど、それぞれ勝手にやってもらうというのも企画ではありのようだ。
会長	山彦の滝の活用の関係で森林管理署からゲートの鍵を借りているが、一般の利用でも鍵を借りられるのか？
産業課	イベントの場合、事前に日程を知らせ、いつからいつまでという形で借りている。
会長	結氷した山彦の滝については、個人的にはかなり魅力のある、使えるものではない

	<p>かと思っている。色んな面で情報発信をして、うまく使えばいいと思う。紋別や網走の流氷は札幌からの日帰りバスツアーで多く人が来ている。それだけ流氷の魅力があるわけだから、間近で見られる山彦の滝は魅力的なものになるのではないかな。</p> <p>この話題について、そろそろまとめに入ろうと思うが、大まかに言うとウインターキャンプ。雨宮の雪中運行は何か記念の時となった。それから山彦の滝の活用ということが話題となった。いこいの森の活用ではこの3つが主体的なものではないか。よりお金が落ちるのはというのは、今すぐにお金を落としてもらうという議論は難しいと思う。</p>
企画課	<p>先ほど企業版ふるさと納税で資金を調達してディーゼル車の整備をするということをやっていると話をした。そのようにインターネットを通じて寄付を募るというやり方もある。雨宮 21 号は全国にファンがいて比較的そういうものと親和性が高いので経済性という面ではそういうところで資金調達をするという方法もアイデアとしてはある。あと、山彦の滝はもっと活用できるというお話があったが、3年ぐらい前に知床のツアーガイドをライトアップツアーにお連れしたことがある。その時に「これだけの氷を見ることができるのは、そうそうない」「ターゲットは海外のお金持ちに売り出して、ホットワインを出したらいいのでは」といった話をいただいた。今やっていることも、工夫によって更に広がるということも考える余地があると思う。そんな方法で話が深まればと思う。</p> <p>ターゲットをどこに置くか、そのターゲットに対してどういう発信をするか、魅力づけをするかということ。</p>
会長	<p>そこまで深く話をできるといいが、時間もあるので、大まかな部分で冬場の活用というところの3点かと思う。その中でこういうのは？というのがあれば意見を出してもらいたい。</p> <p>人材活用ということであると、若い人が地域に少なくなっている。こういうものに興味を持ってもらえる人を育てて行かなければ先細りになってしまう。</p>
委員	<p>観光まつりの実行委員に次の世代の人材が少なくなっている。今の若い世代はそこまで興味がないのかわからないが、若い世代を引き込む策があれば色々なイベントで活用できる。</p>
委員	<p>コロナの時代になって、テレワークだとか、コロナ失業者の受け入れだとか、(町では)そういう施策はないのか。このところ、東京から避難する人もいるという話もある。そういう人の移住を促進するためにテレワークオフィスを作って住んでもらうとか、コロナ失業の方に福祉などの産業に居住も含めて、仕事もあっせんし</p>

		て、地域に馴染んでいただくようなものを用意するとか。発信や移住費の手当て、家賃の支援とか。
企画課		今回の国の臨時交付金を使って移住の施策について、今までにない大胆なものを打って行こうと考えている。今年度、来年度にかけて使用していない職員住宅を改修してテレワークをできるようにする。企業のサテライトオフィス進出や個人のテレワークを伴う移住といったものを増やしていこうと考えている。テレワークに関しては国からもいろんな支援があるが、町としても助成金を出すとか、起業する場合には50万円支援金を出すとか、今までやったことのないことを進めたい。東京の方で失業された方を引っ張ってくるということについては、3密を避けて地方で働きたいという人に遠軽をPRして、いかに来てもらうかを考えて行く。
委員		それに合わせて小口の飲食業をやりたい人などを呼べるといい。活性化にも楽しみにもつながる。
企画課		お試し暮らし住宅は丸瀬布にもあるが、そういうものも厚みを持たせたい。遠軽の市街地にはないので、ホテルとか旅館を活用したり、例えばトレーラーハウスを使ったりということも考えられる。あと、キッチンカーを活用することも方法ではないかと考えている。移住もだが、関係人口をいかに増やしていくかも大事。先日、ロイヤルエクスプレスに乗っている方とお話したが、その方も雨宮21号のことを知っていた。それだけ知名度があるので、そういった関係人口を増やしていく。地域のイベントについても地道だが関係人口という意味で続けていくことが大事になる。
企画課		丸瀬布のお試し暮らし住宅は、今年光回線を引いたのでテレワークに対応している。
会長		そこも活用のしかた、PRも大事になってくる。人材確保、若い人をどう掘り起こしていくかも今後の課題ということになる。
(2) ふるさと納税の促進について	会長	次の議題に入る。ふるさと納税について説明願う。
	企画課	<div data-bbox="432 1563 1166 1977" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">2 ふるさと納税の返礼品を充実</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ R1年度 約2,200万円 ・ 遠軽町は道内超過? ・ 秋川市は70億円 ・ 返礼品は約50品目 ・ R2、4～、(株)だいたい物産加工品を返礼品に追加 ・ R2年度から受付事務を加工会議所に委託。(道内初) </div> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨宮21号の活用 ・ 森林鉄道の聖地づくり ・ 木工品 ・ 体験 ・ エゾシカ </div> </div>  <p>・ 返礼品リスト、企業版ふるさと納税チラシ、作成中のPR用パンフレットを資料</p> </div>

		<p>として用意している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付サイトは「ふるさとチョイス」「ANA」を利用。「楽天」も近く公開する予定。 ・返礼品やPR方法などアイデアを出してもらいたい。
	会長	網走や紋別、佐呂間に対して、遠軽はアイデアが欠けている部分が現れていると思う。委員から意見はないか。
	委員	カニはないか？タコとホタテでは弱い。
	企画課	カニの取り扱いについてはわからない。ホタテはかなりいいものを出している。イクラやシャケもある。あとは、小口の対応を事業者に行ってもらえるかも条件として重要な点となる。
	委員	カニ 50 万円分とか。話題的にもそれぐらいのインパクトがあるといい。だいいちさんがせっかく入ったので、水産物をもっと増やしたい。
	企画課	紋別で一番出ているのはホタテ。何らかの加工をしなければ遠軽町の返礼品にできない。
	委員	体験型なら雨宮号の助手、1 日体験は？
	産業課	石炭入れは無理だが、汽笛を鳴らしたり、出発合図をしたりといったことは可能。
	委員	普段は入れないところに、入れるという体験は面白いと思う。
	会長	これの受付については、役場から事業者にお願いをするという形なのか、それともうちの会社のこれを使ってくれというのか。
	企画課	どちらもあるが、今は基本的に会社から出してもらう形にしている。
	会長	もっと町民にPRして、あそこの会社のこういうものはどうだ？というような募集のしかたをした方がいい。隠れたいいものがあるのではないかな。
	企画課	実は（広報えんがるの）今月号で出している。出しているが、文字だけ。なんでもそうだが、見せ方の工夫が必要。ふるさと納税自体をアピールするときも同じで情報発信のしかたは重要。
	委員	コンテストにしてはどうか。体験の部とかを作って、何位になったらとか、目標を超えたらとかすると応募した人に当たるみたいな企画にすることで地域の方から情報を聞くような。応募する方も楽しめる。
	会長	この間テレビで北見木材さんが出ていたが、ピアノは出せないか。
	委員	ヤマハ本社の判断になる。
	委員	乗馬は出ているのか。
	企画課	令和元年度の実績が 14 件、116 万円。
	委員	期間限定ということもできるのなら、冬のキャンプ体験もいいのではないかな。山彦

		の滝の見学ツアーもいい。体験ものをもっと入れていけばいい。
支所長		返礼品の上位にはどんなものがあるか？
企画課		上位は圧倒的にアスパラ。2300万円中、1000万円を占める。ただし、生産量が限られていて、これ以上増やせない状況。ふるさと納税を増やすならアスパラ以外で稼ぐ必要がある。じゃがいも、130万、次が乗馬、吉川さんのベーコン等。2泊3日のツアーも2件だが160万円、ベル食品のカレーが180万円で2番人気。
委員		80万円の北海道を満喫ツアーはどんな内容か？
企画課		2泊3日で行程は好きなようにできる。飛行機は紋別空港で宿泊はマウレ山荘となっている。体験したいことがあれば、それを含めて旅行プランを作る。
産業課		雨宮号で言えば、火入れ体験は朝早くなるが、十分できる。三笠はお金を出せば運転体験ができたはず。陸別も。
会長		風穴も夏場に体験すると、一つの体験ものに組み込めると思う。マウレ山荘では大平の星空ツアーをやっている、人気があると言っていた。
企画課		お客さんが好きな時に行きたいというのに応えられる体制が課題。安定供給できるか。
会長		これをまとめるのは商工会議所？
企画課		企画課となる。各地域のまちづくり会議でアイスクリーム、メロン、熊の爪、ヤマベ釣りツアーなどいいアイデアを出していただいている。
(3) 公共施設の見直しについて	会長	返礼品の関係も時間の関係でこの辺までにしたい。議事(3)の公共施設の見直しについて説明願う。
	企画課	<div data-bbox="432 1296 1166 1711" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">3 丸瀬布地域の公共施設見直しの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口規模に合わせる ・類似施設を統合 ・「新しい日常」への対応 ・使いやすさの向上 ・維持管理費の縮減 <p style="text-align: center;">※「今まで」を切り替え「これから」を考える。</p>  </div> <p>・町としては施設の総量を縮減したい。</p> <p>・統廃合するに当たっては、利用状況、維持管理費用など詳細な資料を施設ごとについて示さないと、判断ができないと思う。</p> <p>・今日の段階でそのレベルの資料が用意できていないので、総論だけお話しして、結論は求めない。</p> <p>・ご意見があればお聞きしたい。</p>

会長	これについて何かあれば。これから色々な部分で考えなければならないということだが、先ほど出たテレワークオフィスも、こういう施設の見直しで使えるものは使っていく。丸瀬布はコロナがありません。密になりませんというPRもできるのではないか。
企画課	この施設をこういう使い方をしたら・・・というような話も出るという。
委員	使われていない施設には経費がかかっているのか？
企画課	固定資産税はかからないので、放っておくなら経費はかからない。壊すには費用がかかる。
委員	使った方がいいということか。
企画課	使うと暖房、水道とかお金がかかってくる。
委員	施設総量を減らしたいという対象は使っていてお金がかかっているが、利用の少ない施設ということか。
企画課	単純に利用が少ないからということだけではない、住民の生活のクオリティを極端に下げないところからということになる。
会長	例えば役場の職員住宅なんかを極端に言うなら「これをあげますよ」ということは町としてできるか。
企画課	今の制度上、タダであげますはできないが、条例を作ればできると思う。
会長	安い金額で売ることができれば、夏場ちょっと来て、戻るといった人が来てくれるのではないか。
支所長	実際に営林署の住宅を購入して、東京から来ている人もいる。
企画課	町の公共施設総合管理計画では、利用の見込みがないものについてはなるべく売る、売れないものについては壊すという方針を持っている。壊すのはお金がかかるので十分できていないところだが・・・。
委員	このへんは自分たちの価値観と買う方の価値観が全然違う。うちの近くでも古い農協の倉庫を改造して住んでいる人もいる。情報を出してみると以外に引っかかるのかも知れない。
企画課	空家バンクがあったらいいというご意見もあった。民間でも管理されていないような建物がある。
委員	夏だけ来たいという人もいる。でも、買うまではいかない。
委員	体験住宅に入れるのでは？
企画課	最長6か月まで入れるが、町内でお仕事をさせていただくということが要件になる。去年からそのようにしたが、それまではホテル代わりに利用されていて、移住する気のない人ばかりだった。「移住してもらうため」という目的からすると、この使

		い方は実態が違うということで仕事をしていただくのを要件とした。ただ、テレワークならありかなとは思う。
委員		テレワークだと仕事しているかどうかわからない。
企画課		確かに確認は難しい。
会長		時間も過ぎているので、議事の中で何かあれば。
支所長		公共施設の見直しの中で、51年経過している庁舎から支所機能を厚生病院の空きスペースに移転する検討を今年度いっぱいかけて行う。それで行くとなれば、R3実施設計、R4整備改築、R5年度に支所が引越するというスケジュール感となる。現在、1階への移転を軸に検討していて、2階はヒルトップハイツ、1階緑の苑側裏口からはデイサービスセンター、緑の苑とデイサービスセンターを廊下でつなぐ可能性もある。
委員		あの建物は町所有？
支所長		持ち主は北海道厚生連。
委員		町が入ったらその部分は町所有になる？
支所長		おそらく無償貸与。
4まとめ	会長	<p>まとめに入りたい。</p> <p>(1) 冬のいこいの森の活用については、雨宮号については、記念時じゃないと運行は難しいとなった。山彦の滝は色々な可能性がある。グランピングも、ふるさと納税での活用も含めて色々検討して行けるのではないかな。問題は人材の確保である。</p> <p>(2) ふるさと納税の促進については、返礼品について役場と相談していろいろなアイデアを出していけるといい。海産物も拡充したい。体験型の返礼品を増やしたい。</p> <p>(3) 公共施設の見直しについては、空き施設の活用、テレワークなどに活用を図りたい。</p> <p>その他何かあれば。</p>
	企画課	まちづくり会議については今年度で一区切りとなる。今後のあり方について、続けてほしい、または、違う形にする、なくなってもいいというようなことをご意見をいただきたい。
	委員	他地域もこのような感じか。会議は町のために役立っているのか？それであればいいと思う。
	委員	続けた方がいいと思う。こういう会議で意見が出て、遠軽駅の勉強スペースのように形になることもある。

委員	意見を出し合っという機会がなるべく多い方がいいと思う。別な地域の話聞ける全体会議も楽しく勉強になる。もう少しぐちゃぐちゃにした会議もやった方がいい。
委員	色んな意見が出た中で少しでもモノになれば、町づくりも良くなると思う。他地域の課題が全体会議で見えるので、あそこはこんなことやってるからウチも、というの見える会議なので、続けて行った方がいい。
委員	色んな方の意見が聞けて、役場の方からはどうなんだろうと思うが、そういうことを気にしないで意見を言える場所を与えてもらえるのなら、続けて行った方がいい。
会長	続けた方がいいと思う。どんな小さな意見でも、それぞれの考え方の違いを聞ける、昔はもっとこういう機会があったが、少なくなっている。
企画課	全体会議が最後になるが、各地域から報告をしていただきたい。2回目の地域会議を開かないで今日の話で報告ということでもいいか。
支所長	他地域の状況は？
企画課	遠軽・生田原はもう1回。白滝は会長に一任だが、2回目はなしとなった。
会長	全体会議はいつ頃の予定か。
企画課	10月ぐらいにできれば来年度予算への反映などの面でいいが、これから2回目的所もあるので10月は厳しい。12月ぐらいと考えている。
会長	もう1回やるか？この2点で話を進めても変わらないのではないかとも思うが。
委員	今回議題がはっきりしていた分フリーに話がしにくかったと思う。
委員	丸瀬布の加工場は町のものか？
委員	活性化施設では商業ベースの利用を認めてくれないのかという話か？
支所長	確かに以前、町民から試作品を作りたいという相談を受けたことがあり、試作品はいいが、その後の商品づくりでずっと使うのはやめたとした。しかし、昔のままの使い方だと施設の価値が十分に生かせない。もっと使い方をオープンにするように行政もやらないとならない。
委員	期限を決めて認めるなどなればいい。
企画課	条例の目的規定が支障ということか？
委員	その意見は提言になるのでは？
企画課	そうだと思う。不公平でなければいい。補助金の目的の縛りを緩和できれば。
企画課	遠軽駅の横で遠軽町芸術文化交流プラザ「メトロプラザ」を整備している。基礎工事の部分で、道外の業者が新型コロナウイルスの影響で道内に入って来れなくなったために本当は来年の7月頃オープン予定だったが、約1年間延びた。関係者

		に検討いただきながら進めてきたが、その点を報告する。ヤマハの最高級のピアノも導入する。吹奏楽などで大いに活用してもらいたい。また、3つの施設の統廃合も行う。施設の解体も速やかに行う。
	企画課	次回は無いといいことでもいいか。また、発表内容は会長と相談させていただくということでもいいか。
	全体	異論なし
5 閉会	企画課	今日出た意見について、形にできるものがあれば、速やかに対応していく。引き続きよろしく願います。 これをもって会議を終了する。

21 : 15 頃終了